

2020

三重教務所通信

11月号



発行人:三重教務所長 柘植 至
〒511-0073 桑名市北寺町 47 教務所開所時間 平日 9:00~17:00
☎:0594-21-8000 FAX:0594-21-8010

✉ 三重教務所 E-mail mie@higashihonganji.or.jp

桑名別院本統寺・三重教区HPアドレス <http://mie-betsuin.com/>



○「令和2年7月豪雨」災害における救援金について

「平成2年7月豪雨」の被災地への支援として、救援金を教区内にお願いをいたし、第1次締切を9月30日に終わりました。皆様方の温かいお気持ちに心から感謝を申し上げます。お寄せいただいた救援金は、九州教区へお届けし、下記のとおり九州教務所長から謝意が伝えられました。

なお、引き続き、12月28日(月)を最終締切として、救援金の勧募を行っていますので、ご支援をお願いいたします。

救援金総額 2,081,012円 (8月2日~9月30日)

謹啓

慈光照護のもと、益々為法ご精進のことと拝察いたします。

本年七月に発生いたしました、「令和二年七月豪雨」による当教区内の被害に対し、早速心温まるご支援をお寄せいただきましたこと厚く御礼申し上げます。

停滞する梅雨前線の影響により、特に熊本県南部では球磨川が氾濫し、寺院をはじめ、ご門徒にも被害が多く発生いたしました。その後も異常気象は続いておりますが、お寄せいただきましたご厚情を支えに、一刻も早い復興へと取り組んでまいる所存でございます。

このたびお寄せいただきましたご厚情に対し、略儀ながら書中をもって御礼申し上げます。

合掌

二〇二〇年十月

九州教務所長 武井 弥弘



三重教区 様

○ 査察委員選挙の当選人について(報告)

このたび、任期満了にともなう各組における査察委員選挙の結果、次のとおり当選人が定まりましたのでお知らせします。

氏名	組名	所属寺
安田 豊	桑名組	法泉寺
伊東 幸典	長島組	正敬寺
瀬木 信弥	員弁組	了圓寺
池井 隆秀	三講組	佛念寺
加藤 淳	三重組	盛願寺
鈴木 晃	四日市組	法藏寺
岡本 尚比古	中勢1組	本福寺
松井 茂樹	中勢2組	淨得寺
川口 昭	伊賀組	淨蓮寺
折戸 芳章	南勢1組	法受寺
藤谷 英史	南勢2組	立雲寺

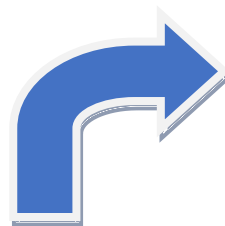
※ 任期 2020年10月1日～2023年9月30日 (以上 敬称略)

○「門首継承式」「真宗本廟報恩講」のLIVE配信について

本年の報恩講は、団体参拝人数の制限や、席をすべて椅子席とし間隔を空けるなど、新型コロナウイルス感染予防措置を講じたうえで、お勤めいたしますが、感染拡大の影響により、例年どおりの参拝がかなわない方も多いため、「報恩講」並びに11月20日に勤まる「門首継承式」、26日から28日に行われる「親鸞聖人讃仰講演会」を、インターネットにてライブ配信いたします。
ぜひご覧ください。

ライブ配信の内容 LIVE

- ・11月20日 門首継承式
- ・11月21日～28日 逮夜・日中
法話・御文法話
祖徳讃嘆(28日)
- ・11月24日～25日 御伝鈔拝読
- ・11月26日～28日 親鸞聖人讃仰講演会



ライブ配信閲覧方法

視聴されたい法要・講演会等の時間になりましたら、

「真宗大谷派東本願寺【公式】Youtubeチャンネル」にお入りください。

※配信状況・受信状況により、配信が途切れる場合があります。その際はしばらく経った後に再度読み込みを行ってください。

URL : https://www.youtube.com/channel/UCLPB2H1qV_1BjH1KAVizZfA/live

[東本願寺\(真宗大谷派\)ホームページ](http://www.higashihonganji.or.jp/) <http://www.higashihonganji.or.jp/>
トップページ(左側)にバナーがありますので、そこからも入れます。

○新型コロナウイルスの感染拡大下における御正忌報恩講(本山)の執行について

2020年9月号の『教務所通信』にてお知らせしました本年の御正忌報恩講については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、法要や参拝方法など変更になっていますので、ご注意ください。

なお、最新の情報については、下記のホームページにてご確認ください。

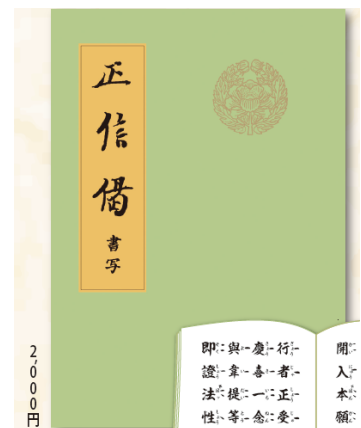
東本願寺(真宗大谷派) <http://www.higashihonganji.or.jp/>

○正信偈書写本について

正信偈書写本は、宗祖親鸞聖人御誕生八百年・立教開宗七百五十年慶讃法要に向けた取り組みの中で、1972(昭和47)年に「一千万人の正信偈唱和運動」の一環として頒布が始まりました。

書写は、経典を後世に伝えていくという、仏教徒によって古くからおこなわれてきた伝統のひとつです。

この書写本は、教務所でお取り扱いしており、また、各寺の経常費御依頼に充当出来ますので、是非ご活用ください。



○2020年度桑名別院報恩講について

今年の桑名別院報恩講について、別紙チラシのとおり勤修いたします。

つきましては、貴寺組門徒会員の皆さまへお渡しくさせていただきますようお願いいたします。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、本日現在で、例年より1日短縮し勤修いたしますので、その旨ご承知おきください。

なお、詳細につきましては、先月号の『教務所通信』(2020年10月号)同封の「2020年度桑名別院報恩講の執行について」にてご確認ください。

○新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCoA)の導入について

三重教務所員及び桑名別院職員は、新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCoA)の導入を義務化し運用しています。

つきましては、特に会議等で教務所及び別院へ来所される皆さまには、出来るだけお使いのスマートフォンに当アプリをインストールしてください。



○教務所及び別院での会議形態について

新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、教化委員会(小委員会)や諸会議の開催について、教務所において「ZOOM」(WEB会議の媒体)のライセンスを取得し、本山からの指示のもと、出来るだけWEBにて会議を開催しています。

会議対象の委員の皆さまには事情を賢察いただき、WEB会議での参加についてご協力くださいますようお願いいたします。



WEB会議の様子

○研修会(公開)のお知らせ

※ どなたでもご参加いただけます。有縁の方をお誘いあわせのうえご参加ください。

聖典基礎講座

◎期 日 11月10日(火)【2019年度第4回目】

12月4日(金)【2019年度第5回目】

◎時 間 13:30～16:30

◎場 所 桑名別院本堂(桑名市北寺町47)

◎講 師 高柳 正裕 氏(真宗大谷派教学研究所 元所員)

◎テーマ 「親鸞聖人、そして親鸞聖人が遇われた七高僧に遇う
—真実の自己・世界に遇う—」

◎参加費 1回1,000円

◎その他 新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、参加者名簿を作成します。

参加ご希望の方は、三重教務所までメール

E-mail mie@higashihonganji.or.jpにて申し込みください。

(①氏名、②何月何日の研修会に参加する、などを記載ください)

電話での申し込みも可。当日は、マスクを着用ください。

なお、会場の桑名別院本堂参加者の定員を60名とし、定員を超えた場合は、
三重同朋会館3階講堂でモニター視聴での参加となります。

※ 新型コロナウイルス感染症の流行次第では、今後、研修会等の縮小や中止の可能性が
ありますので、その旨ご了解ください。

○坊守籍簿登録について

このたび、三重教区坊守会とご相談し、別紙のとおり坊守籍簿登録についての奨励チラシ
を作成しましたので、坊守籍簿登録がお済でない方は、是非ご検討くださいますようご案内
いたします。

○各組事業『三重教務所通信』掲載について

各組で開催される「同朋大会」「公開講座」等、組の事業を『教務所通信』に掲載しますの
で、組長を通じ毎月25日までに教務所へご連絡ください。

○桑名別院・三重教区ホームページについて

桑名別院・三重教区ホームページには、最新の情報を掲載していますので、是非ご活用く
ださい。なお、「寺院用ページ」から、本山並びに教務所へ提出する書類をダウンロード出来
ますので、併せてご活用ください。

また、『三重教務所通信』や教区行事予定(数ヵ月掲載)など、自由に閲覧できますので、
こちらもご利用ください。

○テレホン法話のご案内

11月1日～15日…桑原 範昭 氏(桑名組 西福寺 住職)

11月16日～30日…伊藤 英信 氏(四日市組 本誓寺 前住職)

心をひらく 24時間 いつでも どこでも テレホン法話 ☎(0594)23-6191

諸会議報告

○ 教区会参事会懇談会

- ・ 10月7日に開催した。協議案件は、(1) 慶讃法要にかかる教区検討事項について、① 団体参拝について、② 真宗の仏事の回復に資する事業について、③ 教区教学研鑽機関の整備・充実について、④ 教区お待ち受け大会について、⑤ 慶讃テーマ周知について、⑥ 教区寺院活性化支援室設置について、(2) 「令和2年7月豪雨」救援金及びその取扱いについて。①については、2023年の慶讃法要の三重教区団体参拝において、教区として1250人の割り当て人数が本山より示されたので、去る7月30日開催の組長会において各組団参人数の素案を示し、現在、各組において教区内団参人数の調整を行っている。②については、現在、教区教化委員会寺族門徒研修小委員会において協議が進められている。③については、既に設置済みの三重教学研究室について、更なる充実を目指す。④及び⑤については、教区教化委員会教化推進総務会(幹事会)において協議・検討する。⑥については、その内容について理解する為、企画調整局より説明をいただく。その時期は2021年1月頃とし、参加対象は、教区会参事会員及び教化推進総務会委員。また、(2)については、本誌1P記載のとおり。

○ 出版委員会

- ・ 10月22日に会議を開催した。協議案件は① 正副委員長の互選について、② 出版委員会の持ち方について、③ 2020年度出版事業について。まず、正副委員長の互選については委員長に花山孝介氏、副委員長に長崎直氏が互選された。次に、出版委員会の持ち方について確認した。また、2020年度出版事業について協議し、教区「差別と人間を考える」協議会公開学習会講義抄録、「是旃陀羅」問題に関する学習会講義録の発行について確認された。次回は明年6月中旬頃に開催予定。

Dialogue (ダイアログ・対話) — 教区教化委員会報告 —

○ 教化推進総務会(幹事会)

- ・ 9月29日にWEB会議にて開催した。まず、去る8月21日に開催した大阪教区とのリモート会議について、元大阪教区教化体制策定委員長の山口知丈氏の会議資料を見ながら花山幹事より報告された。次に、次年度の教区教化事業企画立案に向け、各小委員会所管事業の検討作業を始めることを確認した。今後、各小委員会で検討作業が進められる。また、寺族門徒研修小委員会にて検討されている「教区(組)帰敬式実践運動推進計画」策定及び特伝推進本部が作成した「第11次壮年特別伝道中間報告(仮)」について、次回の総務会幹事会にて協議することを確認した。

次回は10月26日(月) 13:30から開催予定。

○ 特伝推進本部

- ・ 9月30日に月例本部会議を開催した。協議事項の①第11次特伝未実施ブロックと、第12次特伝の実施時期については、(i)本年度以降の第11次特伝実施時期は、新型コロナウイルス感染症拡大状況の地域差に鑑み、教区一律ではなく各組(部)において自主決定いただくこととする。(ii)第12次特伝の開始時期については、第11次特伝の実施状況により判断する。②総務会幹事会(8/17、9/29)報告については早い時期に総務会幹事会との協議の場を設ける旨、総務会に要請する。③「第11次中間報告」については、資料編を教区ホームページ上に公開し、ページ数の削減をする。④大阪教区との協議会報告。⑤各組進捗状況報告。(修了者の活動内容、各組特伝スタッフの事前学習会内容など)
- ・ 10月15日に月例本部会を開催した。花山総務会幹事に出席いただき、総務会での協議内容の報告と『三重教報』第82号掲載の「議長挨拶」「教化研修計画概要」に基づく教区教化方針の説明、ならびに教区特伝事業への願いについて意見をお聞きした。その後の本部員との協議では参加者と共に学ぼうとする僧侶の姿勢、参加対象者の目線に立った事業計画、ご門徒からの声を基にした小委員会との連携強化などについて意見交換を行った。次いで各組進捗状況報告。

次回は11月12日(木)13:30から開催予定。

○ 社会教化小委員会

- ・ 10月12日にWEB会議にて開催した。まず、10月7日に本山解放運動推進本部女性室主催にて開催された「男女両性で形づくる教団をめざす協議会」について、当日WEBにて出席した西寺幹事及び鈴木委員、また本山女性室スタッフでもある中川委員より報告があった。次に、先般9月11日に開催した、「ジェンダー問題に関する公開講座」について反省を行った。当日はアンケートを用意し参加者から意見を伺ったが、アンケートの回答が少なかったことや講座後の質問もなかったことから、教区内の声を聞き取る方途について今後検討を重ねる。また、明年4月13日に本山において「女性会議」が開催されるが、委員の研鑽として出来るだけその研修に参加するよう確認をした。次回会議は、1月18日(月)13:30から、当小委員会所管事業の点検等について協議する予定。

○ 教区「差別と人間を考える」協議会

- ・ 10月6日にWEB会議にて開催した。まず、2021年総会・学習会に向けて及び「是旃陀羅」問題に関する継続学習について、学習会講師である片山寛隆氏より事前学習資料が示されたので、その資料を基に今後、委員の事前学習を進める。次に先般6月の協議会の折に話題となった「寺族」の文言を含めた協議会規程内容について検討した。また、例年、「同和問題に取り組む三重県宗教教団連帯会議」事業に参画しているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、「同宗連」事業が今年度ほぼ中止となったことから、併せて企画する予定であった現地研修等について、状況を見ながら判断していくことを確認した。

○ 教学研究室

- ・ 10月7日に運営委員会を開催。第27期三重教学研究室体制について、また、三重教学研究室の運営について協議された。
- ・ 10月8日に月例会を開催。研究員14名出席。藤嶽室長講義では善導の『観経四帖疏』の構成と、「玄義分序題門」から『観経』を正しく読んでいくための視点が、弥陀の本願を明かす『大経(仏説無量寿経)』に説かれていることが示された。続く座談会では『観経』の特徴が「王宮」と「耆闍崛山」の「一経两会(いっきょう・りょうえ。一つのお経が二か所で説かれる)」にあることが確かめられた。
- ・ 10月14日に『聖典基礎講座』2年度目第3回を開催。本年3月に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症対策のため今月に延期。33名参加。高柳正裕講師は「曇鸞は五念門が実現する中心は讚嘆門つまり称名念仏にあると示されます。念仏が本当の意味で「憶念弥陀仏本願」になるかどうか。念仏を称えている時に仏を憶念することがあるかどうかなんです。それは阿弥陀仏に遇わないと憶念できなんでしょうと。仏を憶念することが念仏です。そこには礼拝(懺悔)という問題、「罪(私の存在)」の問題がからんでいます。」「八番問答において曇鸞は「罪」を「罪」と感じない根源にあるものが無明であり、自分が無明の者であるという悲しみが仏の光に会うことだと。自見に立ち怯えている自分が、仏の大悲に触れて初めて怯えから解放されるのです。」と語られた。



○ 教区坊守会

・ 10月5日、第一回坊守講座を桑名別院で開催した。(三重同朋会館3階講堂でモニター視聴) 講題は「なぜ名が救いなのか」。講師は瓜生崇先生で49名の参加があった。新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、別院本堂には間隔をあけて椅子が設置されていたが、その椅子を動かしてしまうことや、休憩時に密になってしまうことなどの問題点があったので、今後の講座の際は注意をしていきたい。

・ 10月13日、役員会を開催した。内容は、まず報恩講の役割担当について。今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、桑名別院より応援人数を最小限にと依頼されたので、委員と役員のみになった。そして、「真宗門徒女性の集い」については、講座の名称を7月から協議を重ね、このたび「真宗門徒の集い」に変更することに決定した。なお、当初予定していた会場(高田本山)について、コロナ禍の中、使用出来るかどうか不安があるため、今年度は桑名別院での一回のみの開催に変更する。

また、葬儀出席時のお焼香の作法の変更点を確認しあった。さらに、『坊守会だより』、若坊守研修の内容、坊守籍簿登録の奨励についても協議した。

次回は12月1日(火)開催予定。



○ ホームページ企画要員会議

・10月9日にWEB会議にて開催した。まず、先般4月に全寺院へ通知した「三重教区・桑名別院ホームページに係る寺院情報の掲載について」寺院画像の提供など、各寺院より少しずつ情報提供をいただき、その都度当ホームページ「お寺検索」ページへ掲載しているが、基本的な寺院情報である連絡先（寺院住所等）について充実を図る為、その作業内容について確認した。次に、手軽に教区の情報入手できる方法として、教務所・別院フェイスブックの導入の可否について、その課題などを協議した。これについては、次回会議において継続して検討する。次に、インターネットでの法話配信について検討した。法話配信は、ユーチューブ等で配信すると世界中の方が視聴できる反面、一度インターネット上に流れた映像は拡散していく為、配信内容について十分に確認しなければならない。それらの課題について今後どのように解決していけるのか更なる検討を続ける。また、現在、教務所で公開講座などの研修会を行う際は、別院本堂において研修を行い、三重同朋会館へその映像を繋ぎモニター視聴を出来るように整備を行ったが、「両会場でインターネットを使用し、相互にやりとりが出来るように出来ないか」との教区内僧侶からの意見があった為、別院本堂と三重同朋会館のインターネット回線で繋ぐ整備の必要性について検討した。この配線工事については多額の経費が必要なことから、今後コロナ禍の状況を見ながら協議を重ねる。今回は、11月11日（水）午後2時からWEB会議にて開催予定。

今月の法語

自信教人信の誠を尽すべき人物を養成するのが、本学の特質であります。（真宗大学開校の辞）

清澤 満之（1863-1903）

○ 書籍のご案内

一念多念文意・一念多念分別事

定価：1,000円（税別）

宗祖著作の聖教に立ち返った学びを深めていただくことを願いとした聞法テキストシリーズ第1弾。

本文篇と付録篇の二篇構成。本文篇には、本文に加え読解に資する註を、付録篇には、読解の一助として現代語訳や両聖教の対照表、親鸞聖人の略年表を掲載。

『一念多念文意』『一念多念分別事』を学ぶ上での必須テキスト。





日	曜	行事内容
1	日	
2	月	青少幼年教化小委員会 14:00-
3	火	
4	水	仏青学習会 14:00-
5	木	
6	金	
7	土	
8	日	
9	月	
10	火	聖典基礎講座④13:30-
11	水	ホームページ企画要員会議 14:00-(WEB 会議)
12	木	特伝本部会議 13:30-(WEB 会議)
13	金	
14	土	
15	日	
16	月	
17	火	
18	水	
19	木	
20	金	門首継承式
21	土	} 真宗本廟 御正忌報恩講
22	日	
23	月	
24	火	
25	水	
26	木	合唱団「ひかり」練習日 13:00-
27	金	
28	土	
29	日	【延期】⑥三講組特伝本講座
30	月	児連月例会 13:30-

【同封書類】

- ① 別院行事案内(A3版:本堂等掲示用。A4版:組門徒会員配布用。) ② 2020年度桑名別院報恩講チラシ【組門徒会員数分同梱】 ③ 坊守籍簿登録奨励チラシ【寺院のみ】